

- 問1 西郷隆盛らが指導した、1877年に起こった士族反乱が始まった場所を何という？
- 問2 義務教育の普及により日本国民の間で高まった、文字の読み書きができる能力の割合を何という？
- 問3 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度である「学制」を公布した年はいつ？
- 問4 明治時代に、銅山の鉱毒によって流域の農作物や住民に甚大な被害を与えた事件を何という？
- 問5 19世紀後半、欧米列強が軍事力や経済力を背景に他国を侵略し、植民地支配を広げた動向を何という？
- 問6 野口英世が専門として研究し、世界的な功績を残した医学の一分野を何という？
- 問7 明治時代に政府によって建設された、日本初の本格的な官営製鉄所を何という？
- 問8 明治時代の産業革命において、製糸業と並んで輸出の主力となった産業を総称して何という？
- 問9 明治時代の貿易において、海外への輸出が特に盛んだった繊維製品の原料となるものを何という？
- 問10 明治時代、郵便制度の普及により新聞や雑誌が全国へ運ばれるようになり、広く国民に伝えられるようになった政治的な動きを何という？
- 問11 日清戦争後、日本に遼東半島の返還を強く求めた3つの国はどこ？
- 問12 明治時代に、日本の伝統的な絵画技法を学びながら、西洋画の写実的な表現なども積極的に取り入れたことで知られる日本画家は誰か？
- 問13 明治時代、富岡製糸場で生産され、日本の主要な輸出品として経済を支えたものは何？
- 問14 日露戦争の講和条約に不満を持った国民が集まり、暴動へと発展した東京の集会場所を何という？
- 問15 明治時代、賠償金などを活用して製鉄所などが建設され、急激に発展した産業分野を何という？
- 問16 1895年に日清戦争の講和のために、講和条約が結ばれた場所はどこ？
- 問17 日清戦争後に結ばれ、日本が台湾などを清から割譲されることになった講和条約を何という？
- 問18 明治政府が近代化を進めるために制定し、不平等条約改正の条件としても重要視された、日本を立憲君主制の国家とする憲法を何という？
- 問19 紡績業の発展により、輸入した原料を加工して製品として輸出する貿易形態を確立するために必要となった、輸入原料を何という？
- 問20 足尾銅山鉱毒事件の被害救済のために尽力し、帝国議会で政府を追及した人物が持っていた職業の肩書は何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 鹿児島	政府を去った西郷隆盛を慕う士族たちが、鹿児島を中心に不満を募らせていました。彼らは当時の政府の政治方針に反発し、1877年に武力蜂起しました。これが日本で最後かつ最大規模の士族反乱である西南戦争です。
問2	答え 識字率	学制の発布やその後の義務教育制度の普及により、日本全国で小学校教育が展開されました。その結果、全国民が読み書きの能力を身につけるようになり、識字率が劇的に向上しました。高い識字率は、近代技術の習得や新しい思想・文化の吸収を容易にし、日本の急速な近代化を可能にする大きな要因となりました。
問3	答え 1872	1872年に公布された「学制」は、フランスの制度を参考にしつつ、全国に小学校を建設して国民全員に教育を受けさせることを目指すものでした。
問4	答え 足尾銅山鉛毒事件	足尾銅山から排出された鉛毒（煙や廃水）が、周辺の山林を枯らし、渡良瀬川に流れ込んで農地を汚染しました。これにより流域の農作物が育たなくなり、住民の健康被害も発生する深刻な公害問題となりました。
問5	答え 帝国主義	この支配の形態を帝国主義といいます。自国の利益を最大化するため、軍力行を行使してアジアやアフリカを次々と植民地化しました。日本もこの流れの中で、近代化を急ぎ、国際的な地位を確保するために帝国主義的な政策を展開するようになりました。
問6	答え 細菌学	野口英世は細菌学の研究者として、梅毒の研究や黄熱病の調査など、世界各地で精力的な活動を行いました。特に細菌の培養技術などで大きな貢献をし、世界的な医学者として名声を博しました。
問7	答え 八幡製鉄所	1901年、福岡県に八幡製鉄所が操業を開始しました。日清戦争の賠償金を建設費に充て、中国から鉄鉱石を輸入し、国内の石炭を利用するという立地条件の良さを活かした大規模な工場でした。
問8	答え 軽工業	初期の産業革命において、綿糸や絹糸などの生産を中心とする軽工業は、日本の輸出の大部分を占めるまでに成長しました。国内の需要をまかなうだけでなく、海外へも輸出することで外貨を獲得する役割を果たしました。
問9	答え 生糸	富岡製糸場をはじめとする機械制工場が次々と建設され、効率的な生糸の生産が行われました。生産された生糸はアメリカなどへ大量に輸出され、日本経済を支える主要な商品となりました。
問10	答え 自由民権運動	1874年に板垣退助らが民権議院設立建白書を提出したことから始まり、全国的な広がりを見せました。郵便制度や新聞の普及によって、各地で演説会が開かれ、憲法草案の議論も活発に行われました。
問11	答え ロシア・ドイツ・フランス	この3国は、日本に対して「遼東半島の領有は東アジアの平和を乱す」と主張し、返還を勧告しました。まだ戦争の余力がない日本は、これを受け入れざるを得ませんでした。
問12	答え 横山大観	横山大観は、岡倉天心のもとで学び、伝統的な日本画の精神を継承しつつも、西洋画の色彩や空間表現を融合させようと試みました。特に、輪郭線をあえて描かない独自の画風「朦朧体」は、当時斬新な手法として大きな注目を集めました。
問13	答え 生糸	生糸は、蚕の繭を煮て引き出した糸のことで、当時の日本における輸出額の大部分を占めていました。富岡製糸場では、フランスから機械技術を導入し、大規模かつ高品質な製糸が行われるようになりました。
問14	答え 日比谷公園	1905年9月、東京の日比谷公園で開かれた講和反対国民大会がきっかけとなり、群衆が暴徒化して周辺の警察署や新聞社を襲撃しました。これを日比谷焼打ち事件と呼びます。
問15	答え 重工業	製鉄、造船、機械製造などを指す重工業は、日清・日露戦争を経て急速に拡大しました。下関条約で得た賠償金が八幡製鉄所などの設備投資に回されたことが大きな要因です。これにより、日本は繊維などの軽工業中心から、金属や機械を扱う重工業国へと産業構造を転換させました。
問16	答え 山口県下関	講和会議の場として選ばれたのは山口県下関の春帆楼でした。日本側は伊藤博文と陸奥宗光、清側は李鴻章が全権として出席し、厳しい条件を含む条約に署名しました。
問17	答え 下関条約	全権大使の伊藤博文と陸奥宗光らが交渉し、1895年に下関条約が結ばれました。内容には朝鮮の独立の承認、賠償金の支払い、そして台湾、澎湖諸島、遼東半島の割譲が含まれていました。
問18	答え 大日本帝国憲法	1889年に発布された大日本帝国憲法は、ドイツ（プロイセン）の憲法を手本にしています。天皇が主権者として統治権を総攬し、議会や内閣の権限を制限する強い君主権が特徴です。
問19	答え 綿花	紡績業の発展により、インドや中国、アメリカなどから安価な綿花を大量に輸入し、国内の工場で綿糸へと加工しました。この加工貿易の形態が確立したことで、日本は繊維立国として国際競争力を強めることができました。
問20	答え 衆議院議員	田中正造は「衆議院議員」として、当時の政府に対して足尾銅山の鉛毒被害の深刻さを繰り返し訴えました。国会の壇上から政府の責任を強く追及する彼の姿は、社会に大きな衝撃を与えました。